

ミナミの環境改善に向けた検討会議

【日時】 令和7年12月22日（月）14時50分～15時30分

【場所】 大阪市役所5階 大応接室

【出席者】 大阪府知事、府民文化部長、府民文化部都市魅力創造局長
大阪市長、中央区長、中央区副区長、政策企画室長、経済戦略局長
市民局区政支援室長（局長代理）、計画調整局企画振興部長（局長代理）
健康局長、環境局長、建設局理事（局長代理）

【議事】 ミナミの環境改善に向けた取組状況及び推進について

【議事要旨】 中央区副区長より資料に沿って取組報告

- ・市長をトップとした庁内検討会議（8月29日開催）で、地域ニーズも踏まえ主体的・積極的な取組検討と区局間連携が指示された。
- ・令和7年度中に速やかな対応、8年度に向けて新規取組を検討し、予算要求を行っているところである。
- ・現状と課題として、ミナミは繁華街として国内外から多くの来街者がいる一方、ごみのポイ捨て・路上喫煙・悪質な客引き等の環境課題が顕在化している。
- ・“美しく快適なまち”“安全・安心なまち”の2つの柱に環境改善施策の整理を行った。
- ・これまでの経過、実施してきている取組内容について、各種清掃活動、啓発活動を継続・強化している。
- ・重点エリアを北は長堀通、西は西横堀川、南はなんさん通り、東は堺筋で囲まれる「大宝」「御津」「精華」「河原」の4地域を重点区域に設定した。
- ・新規施策「ミナミごみゼロカート」（カートによる移動ごみ回収）を12月より実施している。
- ・関係各局・警察・4連合協議会等による合同パトロールではみ出し看板や路上営業店舗への指導、放置自転車の指導啓発や撤去に取り組んでいる。
- ・今後、清掃エリア拡大、喫煙所整備、啓発業務拡充などを関係局間で連携して進める。
- ・2月中旬頃に予算案・取組内容公表予定である。

大阪府知事より次のとおり発言があった。

ミナミを徹底的にきれいにしたいと考えている。ごみ・タバコ・トイレ・清掃の課題への対策として、宿泊税10億円を投入する。

大阪府知事・大阪市長より次のとおり質問・意見等があり、市長及び関係局区より次のとおり回答があった。

1. 今年度の取組について

(府知事)

- ・ごみゼロカートの平日実施や範囲拡大について質問。

(中央区長)

12月5日から始めた取組であり、とりあえず観光客の多い曜日に限定して実施。効果を見て、来年度以降範囲拡大を検討する。また、ごみゼロカート事業は委託で実施している。

2. ごみの課題について

(府知事)

- ・スマートごみ箱（IoTごみ箱）の増設とそれにかかる課題について質問。

(市長)

ごみ箱の設置は効果があると考えている。ぜひ取り組んでいきたいので関係区局で検討するように。

3. 喫煙所設置の状況と課題について

(市長)

- ・太左衛門橋周辺の環境整備を行いたい。

(府知事)

・タバコのポイ捨てについて、喫煙所の設置は重要であると考えているが、課題は何か。

- ・駐車場等活用できないか。

(環境局長)

設置課題は場所の確保・非喫煙者への配慮等があげられる。あわせて、観光客のマナー啓発についてもしっかり取り組んでいきたい。

(市長)

市内全域で設置可能な場所を調査中。ミナミエリアは特に力を入れて令和8年度予算に向けて検討を重ねているところである。

4. トイレ対策について

(府知事)

- ・戎橋トイレの設置についてスピード感をもって進めてほしい。

(環境局長)

市長からもご指示をいただいている。人通りが多いエリアのため、工事

時間・資材置き場など施工上の課題・制約あるが、精査して進めていく。

5. 放置自転車対策について

(府知事)

・放置自転車について、視察中も見かけたため、さらに市において取り組んでほしい。

(市長)

4月から夜間撤去実施している。地元協力により対応強化しており、引き続き対策を推進していく。

6. キャリーケース（スーツケース）の放置について

(市長)

・キャリーケース（スーツケース）の放置について問題視している。観光客への啓発と回収スキームを検討できないか等思案している。

(政策企画室長)

インバウンドの方へ向けた啓発等がまずは取り組むべきこと。ごみもタバコも同じで、スーツケースに関しても綺麗なまちにするという大きな方向性の中で取り組んでいく。

スーツケースについては、行政としてどこまで対応すべきかという検討が必要である。

(府知事)

・スーツケースの放置対策も今回の事業内容に入れてほしい。

総括

ごみ、トイレ、喫煙所、清掃、スーツケース放置について、府市一体・宿泊税活用で重点的に取り組む方針を共有。

ミナミの環境対策は重点事業として加速させていく旨の確認。